



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月13日

上場会社名 株式会社レントラックス
コード番号 6045 URL <https://www.rentracks.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 大輔
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 梶尾 幸介
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3878-4159

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	2,876	19.1	890	94.7	885	99.9	588	92.9
2024年3月期第3四半期	2,415	1.2	457	42.5	443	43.5	305	35.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 604百万円 (52.6%) 2024年3月期第3四半期 396百万円 (15.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	74.95	74.95
2024年3月期第3四半期	38.86	38.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	9,964	3,528	35.4
2024年3月期	9,277	3,097	33.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 3,528百万円 2024年3月期 3,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		22.00	22.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,808	15.6	1,165	78.5	1,147	76.8	719	111.6	91.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	7,975,800 株	2024年3月期	7,975,800 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	119,668 株	2024年3月期	119,668 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	7,856,132 株	2024年3月期3Q	7,856,132 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計方針の変更)	5
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日から2024年12月31日)におけるわが国の経済は、企業収益や個人の所得環境の緩やかな改善により、景気の回復傾向が続くことが期待されますが、ウクライナ・中東情勢を契機とした資源・原材料価格の上昇や円安による物価上昇は依然課題として残り、先行きが不透明な状況が続くものと思われます。

このような経済状況のもと、株式会社電通グループの「2023年日本の広告費」によれば、2023年の日本の総広告費は7兆3,167億円と、前年比103.0%と過去最高となりました。その中でも当社グループが属するインターネット広告市場においては、インターネット広告媒体費が2兆6,870億円(前年比108.3%)と継続して高い増加率を保持しております。

当社グループでは、主力の成果報酬型広告サービス事業において、金融、自動車、エステクリニック、転職求人、士業、不動産関連など既存の各ジャンルにおける広告主様への注力を継続するとともに、物販等のその他新規分野の広告主様に対して営業の強化を図り、また広告掲載媒体運営者様に対して、より一層の連携強化に努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,876,548千円(前年同四半期比119.1%)、営業利益890,385千円(同194.7%)、経常利益885,823千円(同199.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は588,843千円(同192.9%)となりました。

セグメント別の売上高は、成果報酬型広告サービス事業が1,633,367千円(同126.9%)、検索連動型広告代行事業が38,568千円(同88.3%)、中古建設機械マーケットプレイス関連事業が878,577千円(同128.9%)、その他の事業が326,034千円(同81.0%)となっております。また、セグメント利益は、成果報酬型広告サービス事業が1,633,367千円(同126.9%)、検索連動型広告代行事業が38,568千円(同88.3%)、中古建設機械マーケットプレイス関連事業が120,941千円(同96.9%)、その他の事業が205,823千円(同75.4%)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は9,964,928千円となり、前連結会計年度末と比較して687,001千円の増加となりました。これは、現金及び預金が733,141千円、売掛金が43,640千円増加し、商品及び製品が67,554千円、前払費用が32,270千円減少したこと等が主な要因であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は6,435,934千円となり、前連結会計年度末と比較して255,735千円の増加となりました。これは、未払法人税等が284,688千円増加し、買掛金が41,289千円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は3,528,993千円となり、前連結会計年度末と比較して431,266千円の増加となりました。これは、利益剰余金が416,044千円、その他有価証券評価差額金が11,271千円増加したこと等が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月14日の「2025年3月期第2四半期累計期間連結業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,818,100	5,551,241
売掛金	3,136,841	3,180,481
商品及び製品	267,317	199,763
原材料及び貯蔵品	1,191	1,378
前払費用	291,274	259,004
その他	206,931	195,361
貸倒引当金	△137,730	△127,233
流動資産合計	8,583,926	9,259,996
固定資産		
有形固定資産	55,201	51,628
無形固定資産		
その他	11,083	11,948
無形固定資産合計	11,083	11,948
投資その他の資産		
投資有価証券	573,718	591,587
関係会社株式	10,000	10,000
長期未収入金	186,049	149,718
繰延税金資産	7,939	5,493
その他	33,190	31,873
貸倒引当金	△183,184	△147,318
投資その他の資産合計	627,714	641,354
固定資産合計	694,000	704,931
資産合計	9,277,926	9,964,928
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,957,822	1,916,532
短期借入金	3,557,984	3,557,040
未払法人税等	6,266	290,954
賞与引当金	42,570	29,400
その他	398,555	413,585
流動負債合計	5,963,198	6,207,512
固定負債		
長期借入金	209,390	202,606
繰延税金負債	6,136	23,976
退職給付に係る負債	1,474	1,839
固定負債合計	217,001	228,421
負債合計	6,180,199	6,435,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,096	440,096
資本剰余金	346,096	346,096
利益剰余金	2,186,311	2,602,356
自己株式	△66,759	△66,759
株主資本合計	2,905,743	3,321,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,170	196,442
為替換算調整勘定	6,452	10,762
その他の包括利益累計額合計	191,623	207,204
新株予約権	360	—
非支配株主持分	0	0
純資産合計	3,097,727	3,528,993
負債純資産合計	9,277,926	9,964,928

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	2,415,202	2,876,548
売上原価	686,327	877,846
売上総利益	1,728,874	1,998,702
販売費及び一般管理費	1,271,460	1,108,316
営業利益	457,414	890,385
営業外収益		
受取利息	175	1,460
受取配当金	—	9,320
仕入割引	1,350	1,108
還付加算金	345	—
償却債権取立益	—	6,109
その他	680	1,111
営業外収益合計	2,551	19,109
営業外費用		
支払利息	11,619	19,316
為替差損	2,089	738
投資事業組合運用損	3,168	3,377
その他	8	239
営業外費用合計	16,885	23,671
経常利益	443,080	885,823
特別利益		
固定資産売却益	—	4
貸倒引当金戻入額	86,134	48,429
新株予約権戻入益	—	360
特別利益合計	86,134	48,793
特別損失		
貸倒引当金繰入額	45,823	—
特別損失合計	45,823	—
税金等調整前四半期純利益	483,391	934,617
法人税等	178,107	345,774
四半期純利益	305,284	588,843
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	305,284	588,843

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	305,284	588,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,949	11,271
為替換算調整勘定	5,928	4,309
その他の包括利益合計	90,878	15,581
四半期包括利益	396,163	604,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	396,163	604,424
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年同四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年同四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	14,717千円	11,805千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	成果報酬型 広告サービス 事業	検索連動型 広告代行業業	中古建設機械マ ーケットプレイ ス関連事業				
売上高							
日本	1,237,008	43,700	311,834	1,592,543	221,484	1,814,027	
アジア	50,349	—	349,193	399,543	181,225	580,768	
ヨーロッパ	—	—	16,041	16,041	—	16,041	
その他	—	—	4,365	4,365	—	4,365	
顧客との契約から 生じる収益	1,287,358	43,700	681,434	2,012,493	402,709	2,415,202	
その他の収益	—	—	—	—	—	—	
外部顧客への 売上高	1,287,358	43,700	681,434	2,012,493	402,709	2,415,202	
計	1,287,358	43,700	681,434	2,012,493	402,709	2,415,202	
セグメント利益	1,287,358	43,700	124,783	1,455,842	273,031	1,728,874	

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	成果報酬型 広告サービス 事業	検索連動型 広告代行業業	中古建設機械マ ーケットプレイ ス関連事業				
売上高							
日本	1,613,373	38,568	187,100	1,839,042	160,746	1,999,789	
アジア	19,994	—	671,702	691,696	165,288	856,984	
ヨーロッパ	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	19,774	19,774	—	19,774	
顧客との契約から 生じる収益	1,633,367	38,568	878,577	2,550,514	326,034	2,876,548	
その他の収益	—	—	—	—	—	—	
外部顧客への 売上高	1,633,367	38,568	878,577	2,550,514	326,034	2,876,548	
計	1,633,367	38,568	878,577	2,550,514	326,034	2,876,548	
セグメント利益	1,633,367	38,568	120,941	1,792,878	205,823	1,998,702	

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。